

平成 28 年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」採択事業

事業名

超高齢社会における内部障害を有した要介護者に対するコメディカル専門人材養成プログラム開発

事業趣旨

超高齢社会において内部障害は疾患の再発予防だけでなく、その後に発症する疾患を防ぎ介護予防の観点からも、解決しなければならない課題です。本邦の高齢者医療は病院をはじめとした医療施設から在宅へシフトしてきており、コメディカルスタッフは専門性（Specialty）に対するアプローチのみならず、生活全般を支える幅広い知識と実践力（Generality）が求められています。しかし、在宅医療における内部障害を有した要介護・支援者に対して臨床実践を行うには3つの問題点があります。1つめは、コメディカルは病気に関する知識のみならず、心理学、行動学、健康科学、教育学など多様化（Diversity）した学術領域が必要であるが、すべての養成校においてカリキュラムにあるわけではないこと。2つめは、在宅医療の現場では専門性（Specialty）だけでなく幅広い知識と実践力（Generality）が求められていることです。3つめは、日々進化する医療情報を自らキャッチし批判的に解釈する十分なりテラシー教育を受けていないことです。そのため、今後ますます超高齢化が進む本邦において、内部障害を有した要介護・支援者に対する Diversity と Generality を包含した教育プログラムを、在宅医療の現場で働いている理学療法士、作業療法士、言語療法士を対象として開発することが必要です。



図. 本事業の背景図